

国家検定

機械保全技能士3級取得に
向けた技能研修講座のご案内

研修概要

主催

※(株)KAMAMESHIと(一社)日本鍛造協会の共同開発

※日本製鉄㈱初の社内ベンチャー、経済産業省「出向起業」令和5年度採択事業
製造業向けに設備予備品の調達マッチングや社内在庫管理DX、保全人材コンサル事業を展開中 (参考URL: <https://kamameshi.com/lp/>)

受講対象

機械保全技能検定受験希望の方、受験相当の機械保全知識取得希望の方

形式

集合研修 1泊2日×5セット(講義回数 計10回)
座学と実技試験の指導を実施、各回課題あり

受講料

220,000円(税込)

人数

各コース6名(Aコース・Bコース 計12名)
※最少催行人数各コース5名

使用教材

専用教材+電気回路キッド(1人1台使用)

会場

【予定】一般社団法人日本鍛造協会(会議室)

申込締切

2024年6月25日(火)

助成金

本セミナーは、下記助成金(制度が拡充されました)の対象となる場合があります。

詳細は、下記ホームページをご参照ください。

- 雇用調整助成金 : https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07_20200515.html
- 人材開発支援助成金 : https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

受講のメリット

未経験者の方も合格実績あり！

- 保全技能士有資格者が在席することで、安定生産及び保全体制強化が可能
- 生産設備突発故障発生時の復旧初動迅速化(生産機械損失軽減)
- 既存従業員の技能拡大・多能工化(体系的な理解深化)
- 自家整備範囲拡大による、修繕費の低減・リソース投入最適化
- 資格取得を人事評価に活用することで、従業員の自己啓発への意欲向上
- 採用活動時のPR効果(会社が資格取得を支援)

機械保全技能士3級取得に向けた技能研修講座のご案内

研修カリキュラム

ご用意いただくもの

電気回路キットを扱う際に使う工具

※工具の詳細はお申込後、ご案内いたします。

講座	内容	日程	
		Aコース	Bコース
第1回	保全士概要、電気基礎知識、タイミングチャート、ラダー図の基礎習得	7月18日（木） ～19日（金）	7月25日（木） ～26日（金）
	自己保持回路、タイマー回路の設計／制作実習		
第2回	上記内容のレビュー、個別質問対応、学科試験対策	9月24日（火） ～25日（水）	10月1日（火） ～2日（水）
	回路設計／制作の所要時間計測（検定模擬）、故障トレース実習		
第3回	回路設計／制作の所要時間計測（検定模擬）、故障トレース実習	11月5日（火） ～6日（水）	11月21日（木） ～22日（金）
	制作実習回路の採点、故障トレース実習、学科試験対策		
第4回	制作実習回路の採点、故障トレース実習、学科試験対策	12月9日（月） ～10日（火）	12月18日（水） ～19日（木）
	制作実習回路の採点、故障トレース実習、学科試験対策		
直前講座	試験対策（模擬）、個別質問対応	1月14日（火） ～15日（水）	1月16日（木） ～17日（金）
試験本番	2024年11月～2025年2月で複数回実施	合格発表 2025年3月下旬	

講師紹介

田村 等 氏（元日本製鉄株式会社 電気設備技術士）

累計100名超の若手・中堅を対象とした技能向上訓練の企画、教育の経験あり

2018年 日本製鉄株式会社社内の高技能者認定

2021年 千葉県「現代の名工」認定（電気配管工）

講座のスケジュール

1日目		2日目	
11:00	オリエンテーション・質疑	9:00	講義
12:00	昼食	10:00	
13:00	講義	11:00	
14:00		12:00	昼食
15:00		13:00	講義
16:00		14:00	
17:00		15:00	
18:00	16:00		
	17:00		
18:00	交流会 第1回・第4回初日に実施予定		

交流会のご案内

同業他社間における受講生同士の「ネットワーク（人脈）」づくりを目的とした、飲食を伴う情報共有会を開催いたします。（参加任意）

【実施予定日】

Aコース

第1回 7月18日（木）

直前講座 1月14日（火）

Bコース

第1回 7月25日（木）

直前講座 1月16日（木）

※ 参加費別途（5,000円前後／1名）



【ご参考】

設備技能士 3 級のレベル

- 簡単な電気シーケンスの理解ができる。
- 現場操作で SW を押すとリレー（P L C）が働き、どのようなロジック／回路で装置が動くか、または表示が点灯するかなどイメージできる。
- 異常発生時に、原因の推測と、簡単な仮処置も可能になる。

資格試験の概要

1. 実施する検定職種（作業）および等級区分

- （1）職 種： 機械保全職種
- （2）等級および作業： 3 級（機械系保全作業、電気保全作業、設備診断作業）

2. 試験方法

試験は「学科試験」および「実技試験」を行います。

（1）学科試験

等級	出題形式・出題数	試験時間
3級	真偽法30問	60分

（2）実技試験

等級	作業	実施方法	試験時間
3級	機械系保全作業	判断等試験	70分
	電気系保全作業	制作等作業試験	110分

3. 受講料

(1) 学科試験

受験手数料	4,600円
-------	--------

(2) 実技試験

等級	条件	受験手数料
3級	一般	15,400円
	減免制度適用	6,400円
	減免制度と学生割引適用	2,900円
	学生割引適用	10,000円

4. 合格基準

項目	説明
学科試験	加算法で100点満点として65点以上の場合、合格となります。
実技試験	減点法で41点以上の減点がない場合、合格となります。 ※正答以外の解答（不正解、空欄、記入ミスなど）は、すべて減点対象となり100点から減点されます

各設問の配点、受検者個別の解答内容など、採点結果については非公開です。

5. 試験日程

等級	区分	試験日
3級	学科	機械保全作業
		電気保全作業
	実技	機械保全作業
		電気保全作業

2025年1月12日（日）

2025年1月12日（日）

2024年11月30日（土）～2025年2月23日（日）の間に複数回実施